

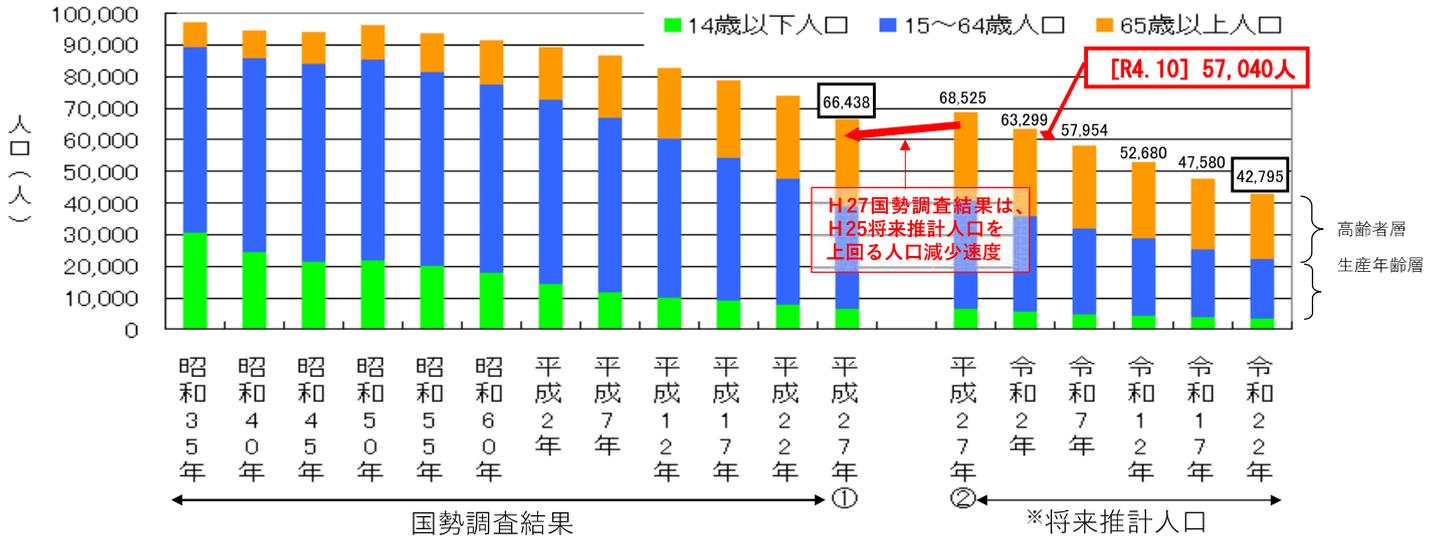
# 賀茂地域の現状①一年齢別人口とH25将来推計人口



ポイント

平成25年将来推計人口による賀茂地域の人口は、令和22年に42,795人となっており、平成27年の国勢調査結果の66,438人より23,693人の減少となっている。

## <賀茂地域内人口と年齢3区分別人口割合の推移>

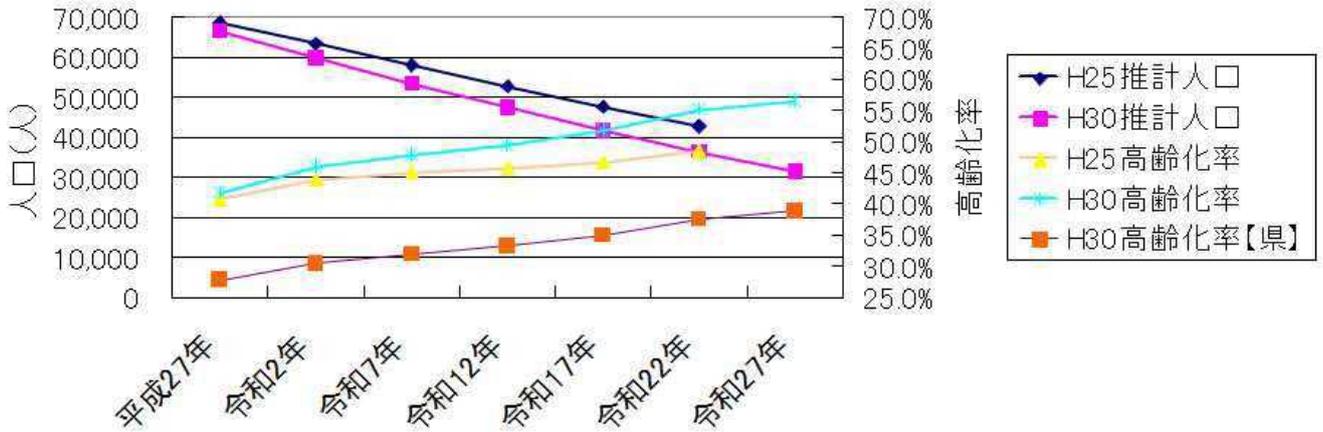


# 賀茂地域の現状③－H25・H30将来推計人口の比較－



- 平成25年将来推計人口及び平成30年将来推計人口による高齢化率を比較すると、平成25年推計では令和22年に約48%となることに對し、平成30年推計では、令和12年で約49%となっており、高齢化率の進行が10年以上早まっている。
- 直近の高齢化率の実績値は、以下の通り。  
 ㊸43.0%、㊹44.0%、㊺44.8%、㊻45.7%、㊼44.7%、㊽45.3%、㊾46.0%

賀茂地域の将来推計人口・高齢化率（H25推計・H30推計比較）

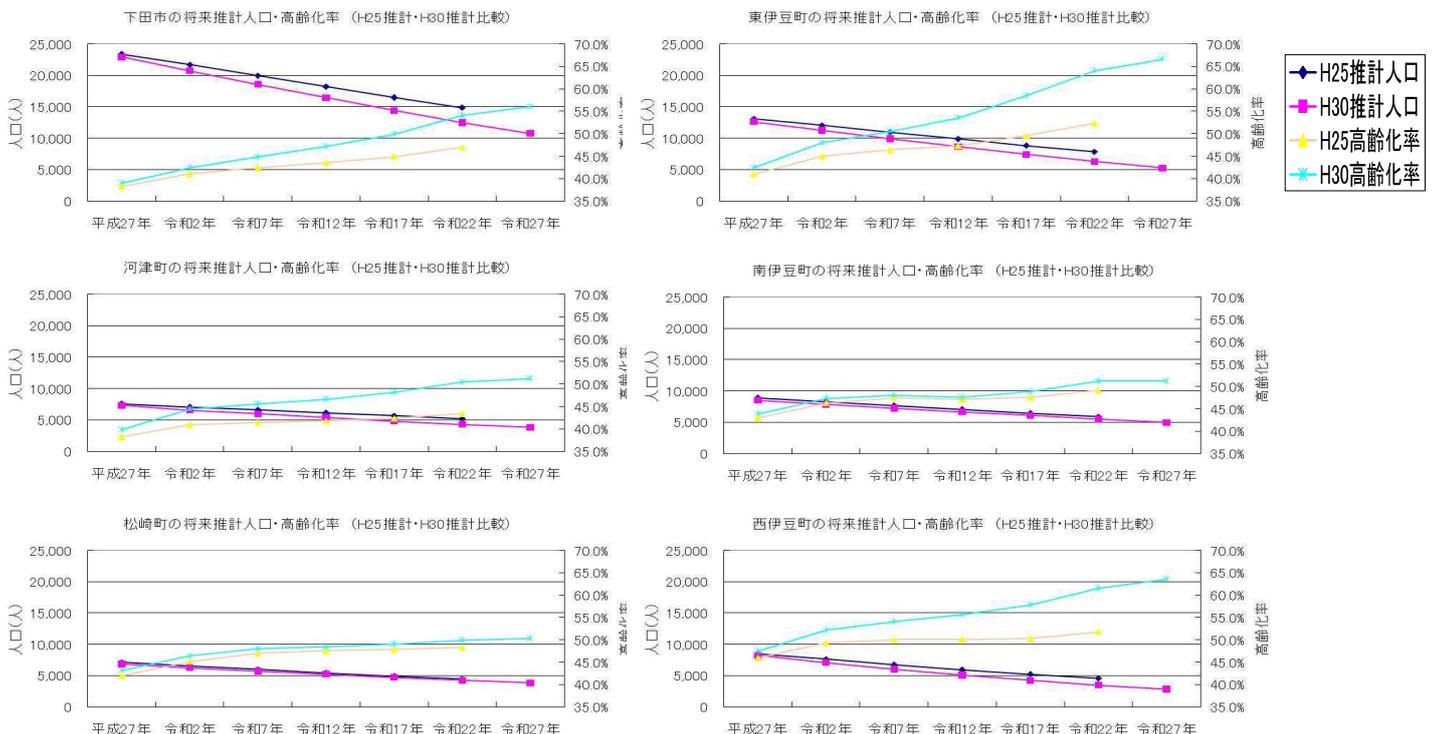


※ 国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月及び平成30（2018）年）の推計結果

# 賀茂地域の現状④－H25・H30将来推計人口の比較－



平成25年将来推計人口及び平成30年将来推計人口による賀茂地域の高齢化率の1市5町別を示したものである



※ 国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月及び平成30（2018）年）の推計結果  
 (資料6) 2

# 賀茂地域の現状⑤ ー 出生児数と将来推計 ー



## ポイント

- 平成30年将来推計人口による賀茂地域の出生数見込は、令和8～12年において、年平均179.2人であり、令和23～27年において、年平均117人となっている。
- 平成29年以降、殆どの市町で将来人口推計による出生児数の年平均値を下回っている。
- 令和4年の管内計は166人で、既に令和7年から12年の年平均値179人を下回り、12から17年の年平均値157人に差し迫っている。

市町名	出生児数												H30将来人口推計による出生児数(5年平均)					
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	Ave. H28-R2	Ave. R3-R7	Ave. R7-R12	Ave. R12-R17	Ave. R17-R22	Ave. R22-R27
県全体	32,041	31,477	31,146	29,732	29,272	28,597	27,119	26,167	24,558	23,355	22,493	21,815	27,572	24,812	23,556	22,477	21,189	19,956
管内計	380	372	353	321	298	287	243	252	227	201	183	166	268	213	179	157	136	117
下田市	146	133	129	120	114	125	102	105	81	68	80	65	100	78	65	54	46	38
東伊豆町	60	60	68	58	43	43	38	36	33	33	21	25	40	30	23	18	14	11
河津町	39	62	49	55	46	29	32	25	35	28	27	23	37	30	25	25	22	20
南伊豆町	61	45	34	42	42	42	29	32	37	32	29	30	39	33	30	29	26	23
松崎町	37	35	37	26	29	29	24	30	18	20	12	11	29	25	22	21	20	18
西伊豆町	37	37	36	20	24	19	18	24	23	20	14	12	23	18	13	10	9	7

※「市町別推計人口」(県統計調査課)を参考に作成

※前年10月1日から当該年9月30日までの出生児数を計上

※黄色箇所は、「H30将来人口推計による出生児数(5年平均)」を下回っている。

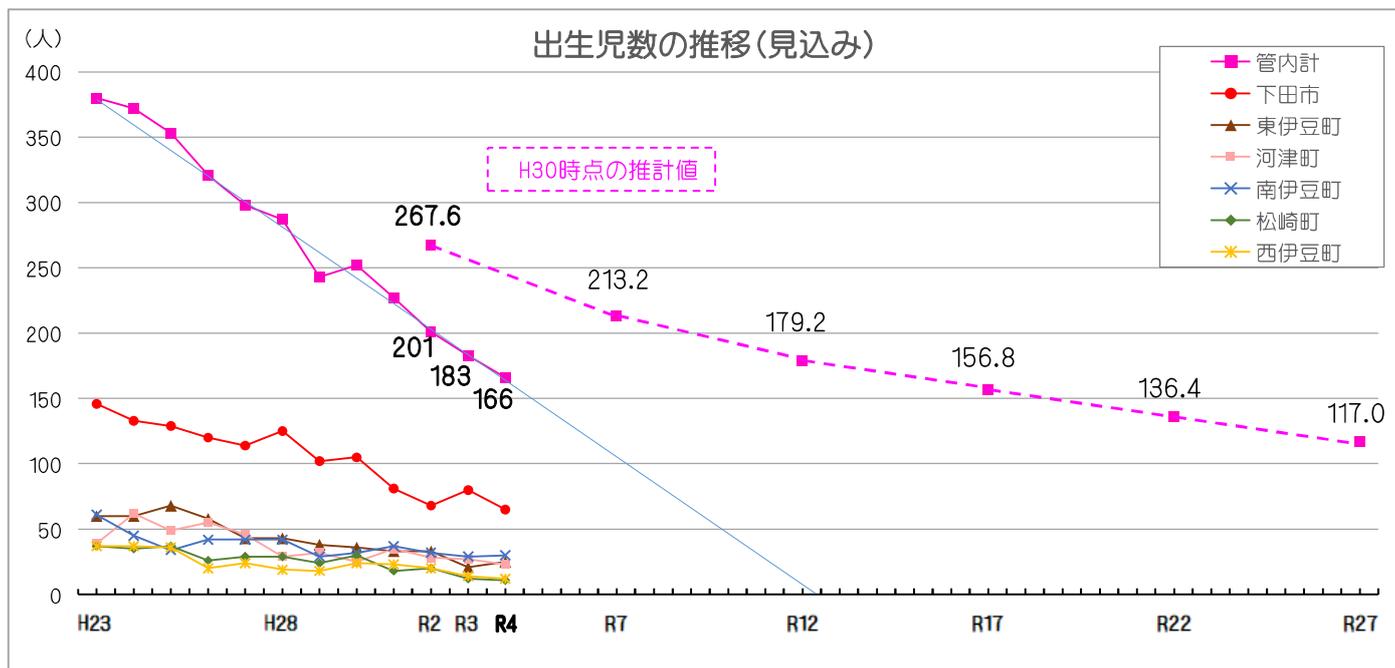
出生児数見込: 国立社会保障・人口問題研究所(平成30(2018)年)の推計結果  
(注)「5年ごとの0～4歳の人数」/5年により平均人数を算出

# 賀茂地域の現状⑥ ー 出生児数と将来推計 ー



## ポイント

平成30年の推計値に比べ、実際の出生児数は既に下回っており、推計値よりも早い減少傾向となっている。



出生児数見込: 国立社会保障・人口問題研究所(平成30(2018)年)の推計結果  
(注)「5年ごとの0～4歳の人数」/5年により平均人数を算出



# 静岡県賀茂地域への若年層誘客に関する研究 —大学生、高校生のスタディトリップ誘致が鍵—

2023年1月25日

八木ゼミ 4年

1

## 1. 静岡県賀茂地域とは



静岡県賀茂地域  
下田市、東伊豆町  
河津町、南伊豆町  
松崎町、西伊豆町

2

## 2. 賀茂地域の宿泊客数の推移



コロナ発生前から観光客は減っている！

3

## 3. 賀茂地域海水浴客の推移



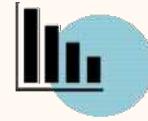
海水浴客の大半は  
若年層

若年層の観光客を  
回復させる必要がある

4

## 4. なぜ若年層の来訪者が必要なのか

✓ 人口減少が急速に進行、2045年には2015年比半減  
⇒31,481人 ⇒66,438人



✓ 若年層の人口を増やし労働の担い手育成が不可欠



✓ 観光客により若年層の交流人口・関係人口を増やす



## どうしたら賀茂地域に若年層を誘客できるか

5

## 5. 伊豆半島に旅行した人の割合（首都圏20代～30代男女3,000名）

<b>2017</b>	<b>344人</b>	}
<b>2018</b>	<b>330人</b>	
<b>2019</b>	<b>328人</b>	
<b>2020</b>	<b>309人</b>	
<b>2021</b>	<b>292人</b>	

**1100名**

年々  
減少傾向

6

## 6. 伊豆半島来訪者の旅行目的地



熱海  
724人

伊東・伊豆高原  
510人

賀茂地域  
203人

南下するにつれて  
来訪者が減っている

(出典)静岡県ホームページ「県内市町リンク集」

7

## 7. 熱海、伊東から賀茂地域まで南下しない理由 (伊豆旅行経験者400名)



熱海のほうが楽しいから熱海で過ごしたい

伊東の方が楽しいから伊東で過ごしたい

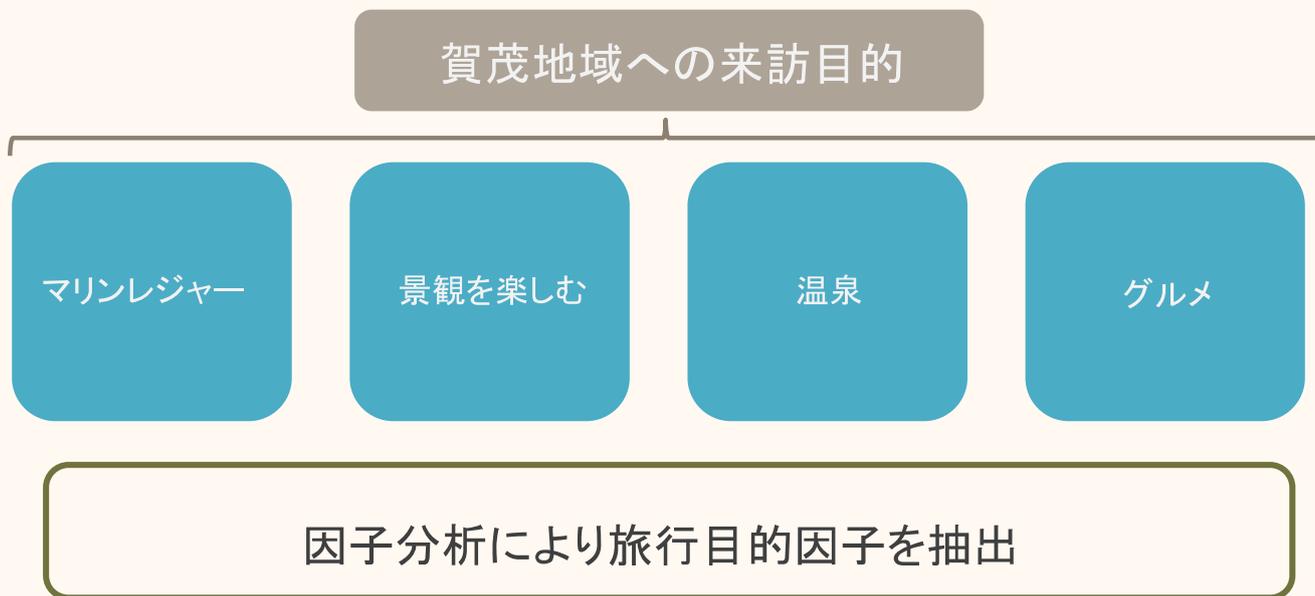


熱海で十分満喫できる

賀茂地域の魅力が十分発信されていない!

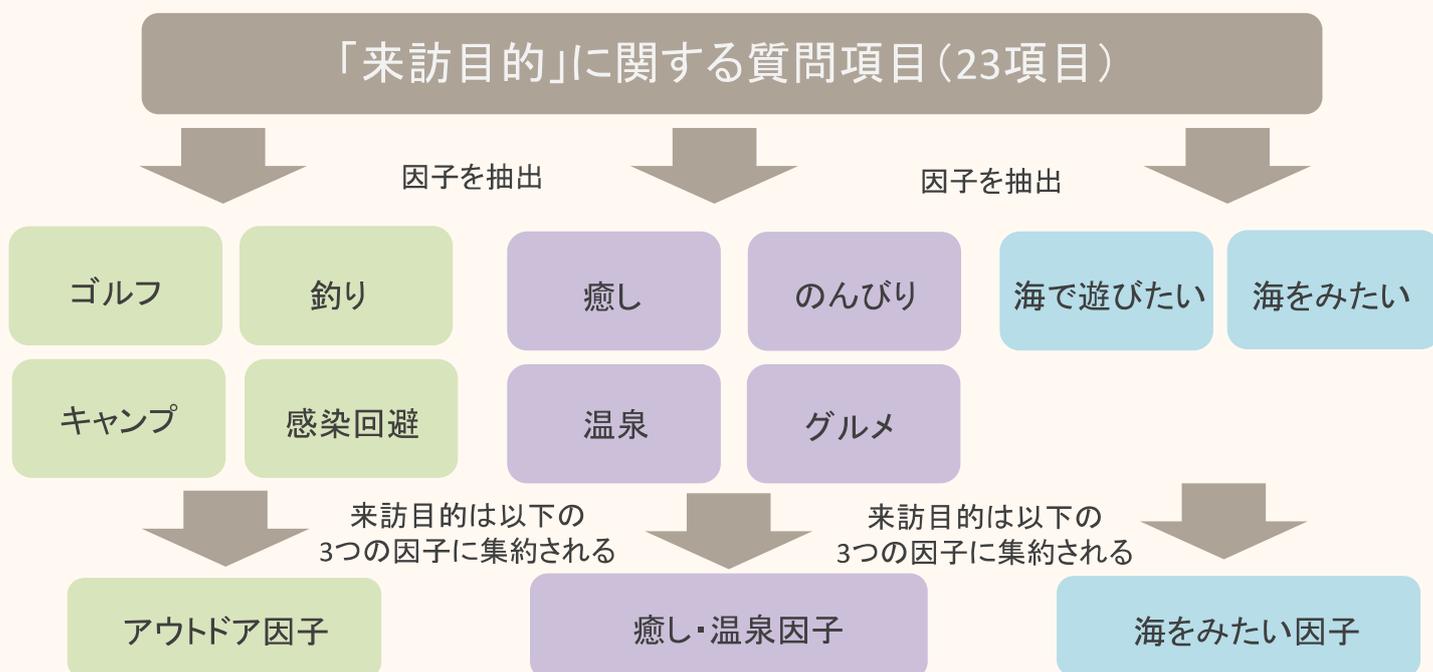
8

## 8. では実際に賀茂地域に来ている人は何をしに来ているのか



9

## 9. 因子分析結果(来訪目的)



10

## 10. 賀茂地域来訪時の満足度(155名)

大変満足



32%



満足



35%



どちらかといえば満足



19%



**86%**



このような高い満足度はどのような因子によってもたらされているのか

11

## 11. 旅行目的が満足度に与える影響(重回帰分析)

癒し・温泉因子が満足度に高い影響を与えている

因子名	標準化係数 $\beta$	t値	有意確率
アウトドア 因子	-0.160	-1.507	0.135
癒し・温泉 因子	0.485	5.165	<0.001
海をみたい 因子	0.116	1.062	0.291

12

## 12. 賀茂地域へのリピート回数と満足度との関係



リピートする度に満足度が上昇⇨魅力を満喫している

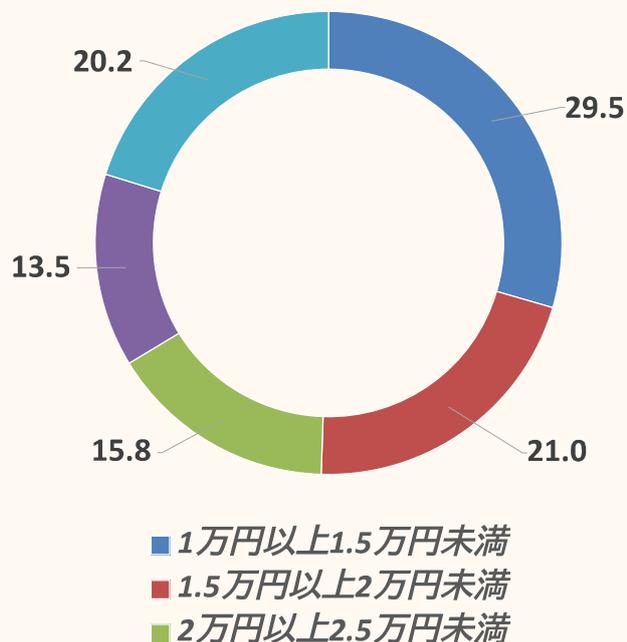
13

## 13. 若年層はなぜ賀茂地域に来ていないのか



14

## 14. 1泊2日の旅行予算



東京～伊豆急下田駅、  
JR在来線特急利用往復  
12,000円



左記旅行予算を前提と  
すれば予算オーバー

15

## 15. 賀茂地域若手経営者の方との意見交換



×

賀茂地域若手経営者



 意見交換

スタディトリップ

- ✓ 高校の地域探求学習(研修旅行)、大学ゼミ合宿誘致
- ✓ 費用の一部を学校が負担し、学生を来訪させる

16

## 16. 伊豆半島への初回訪問時期

### 中・高時代

- ✓ 修学旅行
- ✓ 臨海学校
- ✓ 社会科見学
- ✓ 体験学習

### 大学時代

- ✓ 部活合宿
- ✓ アルバイト
- ✓ フィールドワーク
- ✓ ゼミ合宿

首都圏若年層の賀茂地域を含む伊豆旅行の初回は 自費でないことが判明！



スタディトリップは有効！！

17

## 17. 提言

スタディトリップ

高校生らに実地調査を伴う形で地域学習を行えるよう積極的に取り組みたい！

×

相乗効果！



往復路に駿河湾フェリー



首都圏などの教育機関にアプローチ



18

## 18. 参考文献・参考URL



- [1] 伊豆田義人、西川友子、中川恵、渡邊彩華(2018).『若者の地域への再訪に影響する要素について』山形県立米沢女子短期大学紀要,33-40
- [2]日比野直彦,佐藤真理子 (2012).『若者と旅ー若年層の国内観光行動の時系列分析ー』国際交通安全学会誌 37(2), 142-150.
- [3]中村哲、西村幸子、高井典子著(2014)『「若者の海外旅行離れ」を読み解くー観光行動論からのアプローチ』法律文化社
- [4] 観光庁 (2014).『将来的な商品化に向けた観光資源磨きのモデル調査業務』2014年3月観光庁観光地域振興部観光資源課  
[http://www.mlit.go.jp/kankocho/page05\\_000047.html](http://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000047.html)
- [5] 齋藤美絵子・松元真菜 (2018).『若者の充実した旅行を支援するための地域開発作品の活用指針』デザイン学研究, 300-301
- [6] 八城薫、小口隆司 (2003).『観光地選好に及ぼす個人的原風景と心理学的個人差』観光学研究,10, 27-33.
- [7] 山本真嗣 (2016).『観光地の訪問意向と影響要因の比較論的考察-大学生を対象としたアンケート調査の結果から-』名古屋学院大学論集 社会科学篇,52(4), 165-173.
- [8]静岡県賀茂地域局(2022)『新・南伊豆のすがた』
- [9]静岡県『静岡県統計年鑑』

19

## 終わりに



### ♥ 賀茂地域について

美しい景色を楽しみ、暖かい地域の人々に出会うことができた！  
リピートしたくなる気持ちがとても分かる！

### 🌿 皆さんへ

観光における卒論での現地調査は重要！  
主観的に論理展開するのではなく、質問紙調査や統計分析を通し客観的に示す！

### 👤 現地の関係者との連携・協力

本論文作成にあたり、意見交換とアイデアを提供していただいた静岡県賀茂地域局、賀茂地域の若手経営者の皆さんに感謝いたします

20

## 令和4年度 賀茂地域における大学交流・連携状況

## 下田市

活動名	下田市における歩車共存によるウォークラブルなまちの調査研究・旧下田町地区交通規制社会実験
時期	通年（令和4年5月）
場所	旧下田町内
関連団体	日本大学理工学部理工学研究所（交通システム工学科、建築学科）
対象	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（R3～R4）市民や観光客が旧下田町内を安全に歩くことができるようになるための交通規制社会実験に向けた現地調査と交通施策の提案⇒R5に実証実験予定</li> <li>・市から委託事業として依頼したもの</li> </ul>

活動名	下田市立図書館整備計画基礎調査業務
時期	令和4年5月25日～令和5年3月31日
場所	下田市中心市街地内
関連団体	日本大学理工学部理工学研究所（建築学科）
対象	
内容	市立図書館の再整備計画に必要な建設候補地を検討するために、必要な調査及び資料作成を、市から委託事業として依頼したもの。ワークショップ開催（8月、10月、3月）

活動名	下田-玉川大英語教育連携「秋の交流」
時期	令和4年9月→新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
場所	白浜小、朝日小（本年度の担当校）
関連団体	玉川大学、白浜小、朝日小
対象	市内2小学校（担当校）の児童
内容	玉川大学の学生と市内小学校の学級担任が連携して、学活（1・2年）、外国語活動（3・4年）及び英語（5・6年）の授業に取り組む。子どもたちが、自身の英語力やコミュニケーション能力の素地を養うとともに、大学で学び続けるお兄さん、お姉さんにあこがれをもち、学び続けるよさを実感することをねらいとしている。

活動名	玉川大学連携事業 学園祭「コスモス祭」へ出展
時期	令和4年11月12日～13日
場所	玉川学園
関連団体	玉川学園、下田市、下田市観光協会、市内飲食店
対象	玉川学園学生（幼～大）及びその家族、近隣住民 等
内容	学園祭「コスモス祭」に出店し、市の地場産品の販売、市パンフレット配布・PRを行なったもの。

## 東伊豆町

活動名	リノベーションまちづくり推進事業（継続事業）
時期	通年
場所	稲取地区
関連団体	NPO法人ローカルデザインネットワーク 空き家改修プロジェクト（芝浦工業大学）
対象	ワークスペース利用者及び町民
内容	以前、芝浦工業大学が改修したシェアオフィスにWeb会議用の個室を整備予定。町内に点在する木製ベンチの改修。民間企業から空き店舗の改修を受託。受け入れはNPO法人が行う。滞在費、材料費は町が支出。

## 東伊豆町

活動名	東伊豆町魅力発信プロジェクト（継続事業）
時期	通年
場所	町内及び都内
関連団体	昭和女子大学
対象	地域住民、都内在住者等
内容	町を訪れ観光資源の視察や、雛のつるし飾りの制作体験等を実施した後、東伊豆町の魅力を学園祭等の学内イベントやInstagramなどで紹介して発信する。また、2月には、都内の観光キャンペーンにも参加。町が活動費を補助。活動内容は学生と町担当職員が協議して決定。

活動名	東伊豆町大学等連携地域活性化事業（継続事業）
時期	都内での観光宣伝は令和5年2月に実施
場所	地域住民、都内在住者等
関連団体	跡見女子大学
対象	地域住民及び都内在住者
内容	大学生に都内での特産物の販売や観光宣伝を補助してもらおう。Instagramで町の魅力を発信。また、町内視察や雛のつるし飾り制作体験などを実施。町が活動費を補助。活動内容は学生と町担当職員が協議して決定。

活動名	温泉を活用したウェルネスツーリズムの研究（新規事業）
時期	通年
場所	町内及び都内
関連団体	杏林大学（観光交流文化学科）
対象	首都圏在住者、町内ホテル
内容	温泉観光学の研究を行っている小堀教授と保健学部が連携して、温泉を活用したウェルネスツーリズムについて研究を実施する。熱川温泉の2軒の宿泊施設とスタートアップ企業と連携して温泉と特産品の宅配サービスの説明チラシやロゴを学生が作成。さらに学園祭においてサービス内容のPRを実施。4月から卒業生が役場に勤務することとなった。

活動名	学生サミット（継続事業）
時期	令和5年3月15日
場所	稲取高校
関連団体	NPO法人ローカルデザインネットワーク、芝浦工業大学、工学院大学、昭和女子大学、静岡大学、東京都市大学、学習院大学
対象	町内で活動している大学及び稲取高校
内容	東伊豆町内で活動している大学がそれぞれの活動内容を発表し、他大学との情報共有や今後の活動について話し合う。また、地元の高校生が大学生の活動に参加し町の良さや大学生活を知る機会を作る。

活動名	女子大学連携事業成果発表会・女性人材交流会（継続事業）
時期	令和5年3月3日
場所	Web会議で実施
関連団体	昭和女子大、跡見女子大、白梅学園大学 東急、東神開発、コニカミノルタ、アビームコンサルティング、京王観光
対象	女子大学生、企業担当者
内容	学生が1年間の活動の成果を町及び企業担当者に対し発表し、企業側からは担当者が女性の働き方などについて学生に対しプレゼンを実施。

活動名	熱川温泉振興事業及び北川温泉ねこさい広場整備事業
時期	通年
場所	熱川温泉及び北川温泉
関連団体	工学院大学
対象	熱川温泉及び北川温泉
内容	熱川温泉 まち歩きマップの作成。まちなか照明の整備。観光看板の政策。 北川温泉 ねこさい広場整備に係るワークショップと設計プランの作成。

活動名	東伊豆町の取組みを海外ボランティア活動に活かす取組
時期	6月及び12月
場所	町内
関連団体	学習院大学
対象	
内容	町内で実施されている再生可能エネルギーや地場産品を使った商品開発などのアイデアを元に、ボルネオでのボランティア活動の内容について考えるフィールドワーク。

### 河津町

活動名	河津中学校・青山学院大学体験教室
時期	令和4年8月22、23日
場所	青山学院大学 渋谷キャンパス
関連団体	青山学院大学
対象	河津中学校3年生（中学生12名、教員2名、教育委員会及び役場職員2名＝計16名）
内容	河津町と青山学院大学との連携協力に関する協定に基づき、河津町立河津中学校3年生を対象に見分を広げる意味で同大学の講義を体験受講する。

### 南伊豆町

活動名	(一財) 東京大学大学院農学生命科学研究科との連携
時期	令和4年8月
場所	東京大学下賀茂寮（南伊豆町下賀茂）
関連団体	東京大学
対象	町内小中学生、高校生
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京大学の学生が地元小中学生に宿題・勉強方法や考え方を教える。</li> <li>・令和元年度から実施（先方より地域交流、地域貢献事業の申出あり）。</li> </ul>

活動名	早稲田大学地域連携ワークショップ
時期	令和5年1月～3月
場所	南伊豆町内（南伊豆町役場ほか）
関連団体	早稲田大学
対象	地域住民
内容	「若者の“旅したい”を引き出すPR施策を提案せよ」をテーマに、学生チームによる現地調査や町民・事業者へのヒアリングを実施し、解決策を提案する

活動名	アジア経済・文化交流事業
時期	令和5年3月
場所	南伊豆町内ほか（南伊豆町役場 web トルコイズミルカラバール地区）
関連団体	静岡文化芸術大学、トルコイズミル経済大学
対象	伊豆（イズ）・イズミル地域住民
内容	イズミル経済大学の、「女性達の手工芸を地域の文化として守り育て、特産物と女性の活躍の場を地域に創出する」活動に賛同し、静岡文化芸術大学を介して町内在住の女性工芸家と地域の女性工芸家との遠隔情報交換会を実施。新年度には8月から9月にかけて、両大学の学生らによる遠隔地における公共交通についての現地検証等調査研究フィールドワークの実施を予定している。

## 松崎町

活動名	常葉大学社会環境学部（ふじとこ伊豆プロジェクト）
時期	通年
場所	松崎町石部（棚田）
関連団体	常葉大学、石部棚田振興協議会
対象	地域住民及び棚田オーナー
内容	石部地区の棚田における一連の稲作に伴う作業への協力

活動名	静岡大学地域創造学環フィールドワーク
時期	通年
場所	町内
関連団体	静岡大学、松崎町、商工会、観光協会、町内団体
対象	地域住民
内容	「なまこ壁が残る松崎町商店街のにぎわい創出」「松崎町の防災と観光の両立」をテーマとした2つのグループがフィールドワークに取り組む

活動名	早稲田大学社会科学部卯月ゼミナールフィールドワーク
時期	通年
場所	町内
関連団体	早稲田大学、松崎町、観光協会、松崎小学校、町内団体
対象	地域住民、小学生
内容	景観まちづくりをテーマとしたフィールドワークに取り組む

活動名	2030松崎プロジェクト
時期	通年
場所	町内
関連団体	静岡大学、松崎町、松崎町観光協会、伊豆半島ジオガイド協会、住民
対象	地域住民
内容	中高生とともに描いた松崎町の2030年のゴールに向かって、地域住民、関係団体が協働でまちづくりに取り組むプロジェクト

活動名	立教大学ESD研究所と松崎町とのESD研究連携に関する覚書締結
時期	令和4年8月
場所	松崎町
関連団体	立教大学ESD研究所
対象	地域住民、関連自治体（羅臼町・檜枝岐村・西伊豆町・松崎町・飯田市・対馬市）
内容	持続可能な地域のための学びに関わる研究連携に関する覚書を締結

活動名	松崎町と淑徳大学との地域創生に関する連携協定締結
時期	令和4年8月
場所	松崎町
関連団体	淑徳大学
対象	地域住民
内容	地域創生の推進を目的とした相互の連携についての協定を締結

活動名	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）の地域活動
時期	令和4年9月
場所	松崎町
関連団体	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）
対象	地域住民
内容	2030松崎プロジェクトと連携したなまこ壁清掃を実施

## 西伊豆町

活動名	国際協力・環境保護・地域活性化・災害救援等の実践
時期	通年
場所	町内
関連団体	特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA）
対象	地域住民
内容	休耕田を活用した西伊豆町特産ヤーコン等の栽培、町内海岸における漂着ゴミの撤去、クールタウンフェスの開催等

活動名	地元愛の醸成等による持続可能社会の形成に向けた実践
時期	令和4年11月18日(金)10:00～17:00
場所	Web会議
関連団体	立教大学ESD研究所
対象	関連自治体（羅臼町・檜枝岐村・西伊豆町・松崎町・飯田市・対馬市）
内容	立教大学ESD研究所主催のweb会議に参加

活動名	地域活性化のためのアイデア考察・フィールドワーク
時期	通年
場所	町内
関連団体	静岡県立大学上野ゼミ
対象	地域住民・静岡県立大学生
内容	西伊豆町が抱える地域課題や地方創生の取り組みについて地域活性化のためのアイデアを考察。また、安良里地区の海岸において、地区住民と上野ゼミの生徒が共同でウバメガシ・ハマボウの定植作業を行いつつ、環境保全、地域文化の継承のための活動を実施している

令和4年度 賀茂地域における大学交流・連携状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下田市		<ul style="list-style-type: none"> <li>●旧町内の自動車と歩行者の交通実態調査</li> <li>●観光客の行動実態調査</li> <li>●下田市立図書館整備計画基礎調査業務(R4.5.25~R5.3.31)(日本大学理工学部)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●第1回下田市立図書館ワークショップ(8/21)(日本大学理工学部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【中止】下田・玉川大英語教育連携事業 秋の交流(玉川大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第2回下田市立図書館ワークショップ(10/16)(日本大学理工学部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●玉川大学連携事業 学園祭「コスモス祭」へ出展</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>●第3回下田市立図書館ワークショップ(3/12)(日本大学理工学部)</li> </ul>
東伊豆町		<ul style="list-style-type: none"> <li>●熱川温泉振興事業/北川温泉ねこさい広場整備事業(工学院大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●町の取組みを海外で活用事業(学習院大学)</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>●町の取組みを海外で活用事業(学習院大学)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●大学等連携地域活性化事業(跡見学園女子大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●女子大学連携事業 成果発表会・女性人材交流会</li> <li>●学生サミット(複数大学)</li> </ul>
【通年】 ●リノベーションまちづくり推進事業(芝浦工業大学)(委託) ●魅力発信プロジェクト(昭和女子大)(両方で協議) ●ウェルネスツーリズムの研究(杏林大学)												
河津町					<ul style="list-style-type: none"> <li>●河津中学校・青山学院大学体験教室</li> </ul>							
南伊豆町					<ul style="list-style-type: none"> <li>●東京大学大学院との連携(大学生による勉強支援)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>●早稲田大学地域連携ワークショップ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アジア経済・文化交流事業(静岡文化芸術大学・トルコイズミル経済大学)</li> </ul>
松崎町					<ul style="list-style-type: none"> <li>●立教大学ESD研究所と静岡県松崎町とのESD研究連携に関する覚書締結</li> <li>●松崎町と淑徳大学との地域創生に関する連携協定締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●なまこ壁清掃(IVUSA)</li> </ul>						
【通年】 ●ふじとこ伊豆プロジェクト(常葉大学) ●静岡大学地域創造学環フィールドワーク ●早稲田大学卯月ゼミナールフィールドワーク ●2030松崎プロジェクト(静岡大学)												
西伊豆町		<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海岸における漂着ゴミの撤去(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●松崎高校との交流(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> <li>●地元愛の醸成等による持続可能社会の形成に向けた実践(立教大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●休耕田を活用(IVUSA)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>●クールタウンフェスの開催(IVUSA)</li> </ul>
【通年】 ●地域活性化のためのアイデア考察・フィールドワーク(県立大学)												
静岡県			<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生のための観光講座(県立大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●夜間講座(静岡大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●しずおか寺子屋in賀茂(静岡大学)</li> <li>●Dream授業・賀茂版(県立大学)</li> <li>●アカデミックサマースクール(県立大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生のための観光講座(県立大学)</li> <li>●「賀茂キャンin若旅」オンラインツアー</li> <li>●夜間講座(静岡大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生のための観光講座(県立大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高校生のための観光講座(県立大学)</li> <li>●夜間講座(静岡大学)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ふじのくにづくり学生研究会との意見交換会</li> <li>●下田市の今後の観光についての意見交換(県立大学)</li> <li>●地域課題解決支援プログラム公開シンポジウム(静岡大学)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●静大×和歌山大学研究フォーラム(静岡大学)</li> <li>●「賀茂キャンin若旅」リアルツアー</li> </ul>	
【通年】 ●賀茂地域観光景気調査(県立大学) ●観光人材育成のための社会人講座(県立大学)[原則毎月開講]												

## 若旅 IN 賀茂キャンの実施

(若旅プロジェクト・賀茂地域局)

## 1 要旨

若旅 IN 賀茂キャンは、大学生に伊豆半島の魅力を発信するツアーを大学生が若者の視点で企画・運営するプロジェクトであり、静岡大学、静岡県立大学、静岡文化芸術大学の大学生でプロジェクトチームを発足し、令和元年度から活動している。

今年度は、大学生を対象にニーズ調査を実施し、その分析結果を基に、オンラインツアー及び2泊3日のリアルツアーを実施した。リアルツアーは今年度が初開催となる。

## 2 リアルツアー「賀茂、いいカモ。」実施状況

## (1) 実施概要

日 時 令和5年2月20日(月)～2月22日(水) [2泊3日]

旅行代金 17,400円

参加者 大学生8名

内 容

日程	行程
2/20 (月)	集合：浜松、静岡、三島から貸切バス乗車 ジオリア見学⇒河津七滝見学⇒伊豆縦貫自動車道現場見学⇒河津町内散策⇒栖足寺拝観 宿泊：らいずや [南伊豆町] その他、バス車内では、賀茂地域局職員から賀茂地域の課題・地域資源を紹介
2/21 (火)	下田開国の歴史を学ぶまち歩き⇒竹灯籠づくり体験⇒下田市内まち歩き⇒龍宮窟⇒銀の湯(温泉)⇒夜桜鑑賞(南伊豆町) 宿泊：DAJA(カモスマが経営) [南伊豆町]
2/22 (水)	南伊豆町子浦散策⇒石廊崎オーシャンパーク⇒恵比寿島⇒シークラフト体験(し〜もん) ⇒フォトコンテスト・感想共有 解散：三島、静岡、浜松にて貸切バス降車

## (2) 参加者へのアンケート結果

①ツアーの満足度

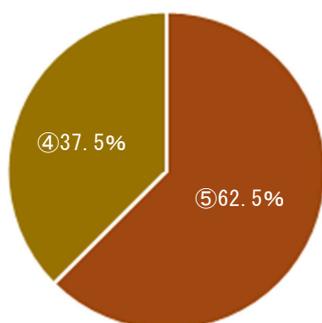
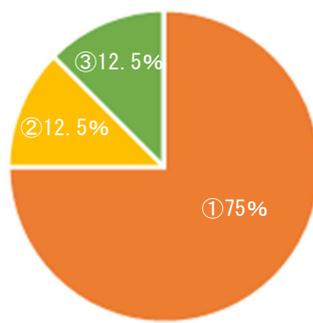
→100%が⑤または④

②賀茂地域へ再訪したいか

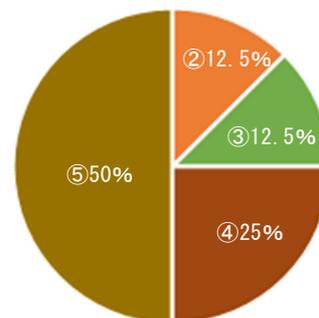
→75%が「ぜひ再訪したい」

③賀茂地域旅行を勧めたいか

→75%が⑤または④

①→②→③→④→⑤  
不満 → 大満足

- ぜひ再訪したい
- いつか再訪するだろう
- 若旅のようなツアーがあれば参加するだろう
- 再訪は考えられない

①→②→③→④→⑤  
勧めたくない → 勧めたい

### (3) 写真

#### ① ジオスポット

河津七滝（河津町）



龍宮窟（下田市）



#### ② 体験

竹灯籠作り体験（竹たのしみまくる下田）



シークラフト体験（し〜もん）



#### ③ 地域の人と交流

栖足寺（河津町）



ゲストハウス DAJA（南伊豆町）



### 3 効果、今後の実施に向けて

#### (1) 効果

- ・大学生が賀茂地域の魅力を知ること、地域の人々との交流による、関係人口の増加
- ・大学生の賀茂地域への興味・関心向上による、再訪意欲向上
- ・大学生のスキルアップ、フィールドワーク、大学での学びをアウトプットする機会創出

#### (2) 今後の実施に向けて

- ・プロジェクトの知名度を高めるなど、参加者を増やす取組を強化する
- ・学生を主体としたプロジェクト運営に向けた、地域局をはじめ行政、関係団体によるサポート体制を検討

<参考>

## オンラインツアー実施状況

### (1) 実施概要

日時 令和4年9月23日(金・祝) 午後3時～午後5時

参加費 650円(お菓子、ポストカード、送料)

参加者 大学生23名

内容 賀茂地域を『感じる』『知る』『味わう』の視点から魅力紹介

<b>① 賀茂地域を『感じる!』～秘境を感じよう～</b>
・堂ヶ島のトンボロ、遊覧船、海中映像(西伊豆町)や龍宮窟・サンドスキー(下田市)を通じて伊豆半島の「秘境感」を紹介
<b>② 賀茂地域を『知る!』～人と歴史に触れよう～</b>
・ペリー艦隊が実際に通った道の紹介やクイズを通じて下田開国の歴史を紹介 ・ゲストハウス「ローカル×ローカル」の紹介や代表 伊集院氏の取組紹介・インタビュー、「南伊豆暮らし図鑑」(米農家の仕事体験)を通じて南伊豆の暮らしを紹介
<b>③ 賀茂地域を『味わう!』～あなたは海派?山派?～</b>
・賀茂地域の海の幸(河津町:舟戸の番屋)、山の幸(松崎町:ほりらぼ)の紹介 ・平井製菓(下田市)からお土産「蒸気船」含めた商品紹介[ライブ配信]

※本編及びドキュメンタリー動画(メンバー密着、若旅の歴史)はYouTubeで公開中

### (2) 参加者へのアンケート結果

① ツアーの満足度

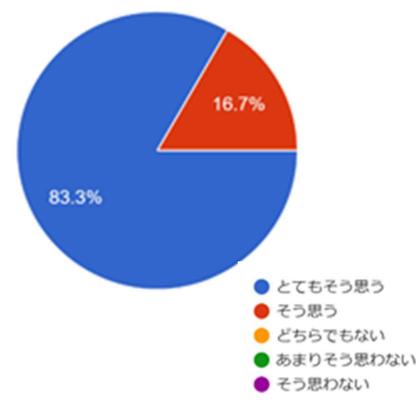
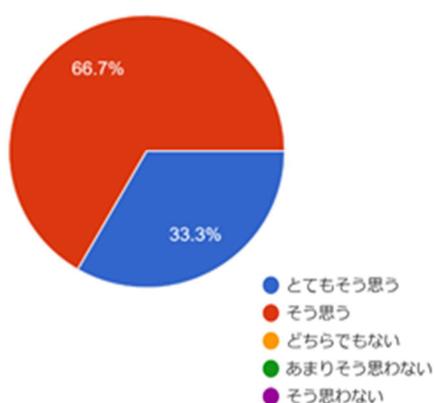
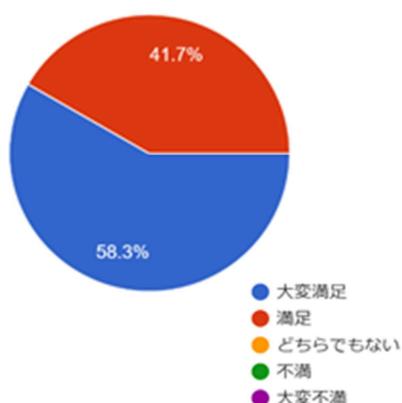
→58%が「大変満足」

② リアルツアーへ参加したいか

→100%が参加を希望

③ 賀茂地域へ訪れたいか

→83%が「とてもそう思う」



### (3) 写真

#### ① 賀茂を『感じる!』～秘境を感じよう～

堂ヶ島のトンボロ



遊覧船 (堂ヶ島マリン)



#### ② 賀茂を『知る!』～人と歴史に触れよう～

ペリーロード



インタビュー(ローカル×ローカル)



#### ③ 賀茂を『味わう!』～あなたは海派?山派?～

舟戸の番屋 (海鮮 BBQ)



平井製菓 (ライブ配信)



(参考: 若旅 IN 賀茂キャンププロジェクト SNS)

<Instagram>



<Twitter>



## 令和5年度 観光・経済活性化関連事業

(単位：千円)

市町	事業名	予算 (千円)	事業内容（概要）	区分
下田市	OTA等広報事業	4,000	OTA事業者（楽天トラベル・じゃらん等）を經由した旅行商品の販売や特集ページの配信により宿泊客を獲得し地域経済の活性化を図る。	継続
下田市	デジタルコンテンツ強化事業	6,000	LINEと連携し、観光施設を巡るデジタルスタンプラリーや参加事業所によるデジタルクーポンの配布により地域経済の活性化を図るとともに、登録者の属性把握により効果的な誘客につなげる。	継続
下田市	中小企業販売力強化支援事業	1,000	市内事業者が行う販売力強化に向けたインターネットを活用したECサイト開設やECモール出店等を支援	継続
下田市	空き店舗等活用創業支援事業	4,000	市内で空き店舗を活用して創業する事業者を支援	継続
下田市	住宅リフォーム振興助成金事業	11,100	市内建設関係事業者の受注機会の拡大と住環境の向上を図るため住宅リフォーム工事にかかる経費を補助	継続
下田市	競争力強化販路拡大支援事業	3,300	販路拡大や競争力強化等に取り組む市内事業者を支援	新規
東伊豆町	観光プロモーション推進事業	8,450	OTAによる地域宣伝と宿泊増売 リアルエージェントとの連携による情報宣伝の露出強化 ロケツーリズム協議会への参画による町内観光宣伝推進 農業・漁業支援ツアーの実施	継続
東伊豆町	インバウンド対策事業	4,500	台湾への営業 ファムトリップ 宿泊施設営業用パンフレット作成	新規
東伊豆町	観光対策事業補助金	15,090	旅館組合のイベント事業や観光関係団体への補助金交付	継続
東伊豆町	ホテル祭り運営事業補助金	3,246	ホテル祭り運営事業への補助金	継続
東伊豆町	細野高原イベント事業費補助金	7,000	細野高原イベント事業への補助金	継続

市町	事業名	予算 (千円)	事業内容 (概要)	区分
東伊豆町	熱川温泉石曳き道灌まつり 事業費補助金	3,500	熱川温泉石曳き道灌祭り事業への補助金	継続
東伊豆町	ロケ誘致推進事業	500	町内でロケを行う者に対する補助金 補助率1/2。上限10万円	継続
東伊豆町	リフォーム振興事業	10,000	住宅を改修する町民に対する補助金 補助率1/5。上限20万円	継続
東伊豆町	創業支援補助金	5,000	町内で創業するものに対する補助金 補助率：町内者2/3 町外者1/2 上限：飲食業120万円、その他は100万円	継続
河津町	ユーラスエナジーカップ 2023 天城アタック35	1,500	記念すべき第1回大会となるトレイルランニングレース を5月28日(日)に開催。天城山にアタックして海へと下 る、約35kmのコースは初めてのトレイルラン参加者にも ぴったりの大会。	新規
河津町	第34回 河津桜まつり	0	河津町・伊豆半島を代表するイベント。第33回は数年ぶ りに行動制限のない中開催され、多くの方が来町されま した。34回の河津桜まつりも同様に地域経済や観光産業 の回復を促進するイベントとなることが想定されます。	継続
河津町	地域活性化企業人採用事業	5,600	都市部の企業等から人材の派遣を受け、行政課題の解決 に連携して取り組む。(シティプロモーション推進等)	新規
南伊豆町	『伊豆'Sライフスタイル』 創造エリア事業	2,610	県策定の「ふじのくにフロンティアを拓く取組」に基づ き、賀茂地域ならではの働き方、暮らし方、遊び方を掛 け合わせたワーケーション等の推進を目指し、協議会を 創設して、広域連携のもと、関係人口の創出による地域 活性化を目指す。	継続
南伊豆町	誘客促進事業	21,776	新型コロナウイルス感染症により減少した宿泊者数の回 復、増加を目指し、「伊勢海老まつり」と「みなみの桜 と菜の花まつり」期間中の誘客促進に注力する。	継続
南伊豆町	合宿等誘致補助事業	3,000	学生等のスポーツ団体・文化団体等が行う大会や合宿等 の誘致を促進し、宿泊者数の増加をはじめとする観光振 興や地域経済の活性化を図る。一回の上限20万円。	継続
南伊豆町	結婚新生活支援事業	3,000	婚姻に伴う新生活の支援を行うことにより、町内への定 住促進及び少子化対策を推進する。	継続
南伊豆町	地域活性化企業人採用・活 動支援事業	24,195	都市部の企業等から人材の派遣を受け、行政課題の解決 に連携して取り組む。(GIGAスクールの推進等)	継続
南伊豆町	デジタル田園都市国家構想 交付金を活用した取組	75,610	国の各種交付金を活用した取組により、地方創生を推進 する。(進出企業定着・地域活性化支援補助3,000万円× 2社他)	継続

市町	事業名	予算 (千円)	事業内容 (概要)	区分
松崎町	地域経済振興事業 (住宅リフォーム助成)	5,000	町内施工業者を利用して住宅の安全性、耐久性及び居住性の向上に関する改修工事を実施する場合、費用の一部を補助するもの。工事費の20%相当、20万円限度	継続
松崎町	起業等支援事業	4,360	町内産業の振興、雇用の促進及び移住定住の促進による地域の活力の増加と経済の活性化を図るため、町内で起業する者及び事業展開する者に対し、費用の一部を補助するもの。対象経費の1/2、200万円限度	継続
松崎町	商工会地域振興実現化事業 (特産品開発事業)	1,000	商工会女性部による新たな特産品の開発を通じ、商工業と観光業の相乗的振興を図るもの。 R3:視察研修 R4:調査研究、マーケティング、試作品製造 R5:特産品完成、チラシ、ポスターによるPR、販売促進	継続
松崎町	地方創生人材活用事業	20,000	観光関連組織等強化のための外部人材の活用 地域活性化起業人2名	新規
西伊豆町	サンセットコイン事業 (電子地域通貨)	975,000	町独自の電子地域通貨であるサンセットコイン事業による還元キャンペーンや誘客事業を実施し、町内の消費循環を促すことで、住民の生活支援や事業者の経営支援を図る	継続
西伊豆町	スクラッチ事業	4,200	商工会が町から補助金を受け実施 事業に参画する飲食店で決済をしたときに、利用券が当たるスクラッチカードを設定額毎に配布し、消費促進を図る	継続
西伊豆町	誘客事業	14,080	観光協会への委託事業 新型コロナウイルス感染症により減少した観光客等の増加を図るため、誘客イベントやメディア活用した情報発信を行う	継続



提供日 2023/03/17  
 タイトル 「今こそ しずおか 元気旅 (全国旅行支援)」の延長  
 担当 スポーツ・文化観光部観光交流局 観光振興課  
 連絡先 観光振興班 TEL 054-221-3637

**観光促進事業の実施期間を6月30日まで延長します！**

現在、3月31日(金)まで実施している観光促進事業「今こそ しずおか 元気旅 (全国旅行支援)」を、6月30日(金)まで延長します。

<事業概要>

名称	今こそ しずおか 元気旅(全国旅行支援)	今こそ しずおか 元気旅 (全国旅行支援)
時期	令和5年1月10日(火)～3月31日(金)	令和5年4月1日(土)～6月30日(金) (4/29 宿泊分～5/7 宿泊分を除く)
予約受付	令和4年12月23日(金)～令和5年3月31日(金) ※予算上限に到達次第、事業終了 ※既存の予約は、割引対象外 ※事業者によっては、準備が整い次第の予約受付開始となる場合があります	令和5年3月24日(金)～6月30日(金) ※予算上限に到達次第、事業終了 ※既存の予約は、割引対象外 ※事業者によっては、準備が整い次第の予約受付開始となる場合があります
利用方法	①旅行会社(全国)で予約する場合 対象商品、宿を予約、販売時に割引 ②OTA(インターネット旅行会社)で予約する場合 予約サイトでクーポン等を取得し割引 ③宿泊施設に直接予約する場合 Web・電話等で予約、販売時に割引	①旅行会社(全国)で予約する場合 対象商品、宿を予約、販売時に割引 ②OTA(インターネット旅行会社)で予約する場合 予約サイトでクーポン等を取得し割引 <b>※ 宿泊施設への直接予約は、割引対象となりません。</b>
割引制度	① 旅行割引	同 左
	② 地域クーポン	
対象地域	全国 (ただし、日本国内に在住の方)	同 左
感染防止対策	・ 宿泊割引の対象は、ふじのくに安全・安心認証施設(宿泊施設)に限定 ・ 利用時にワクチン接種歴3回又は、陰性の検査結果証明の提示を確認	同 左

問い合わせ先 元気旅事務局コールセンター (10:00～19:00)  
 電話番号 利用者向: 0570-030-504 事業者向: 0570-666-867  
 ホームページ URL: <https://www.shizuokagenkitabi.jp/>

(専用HP)

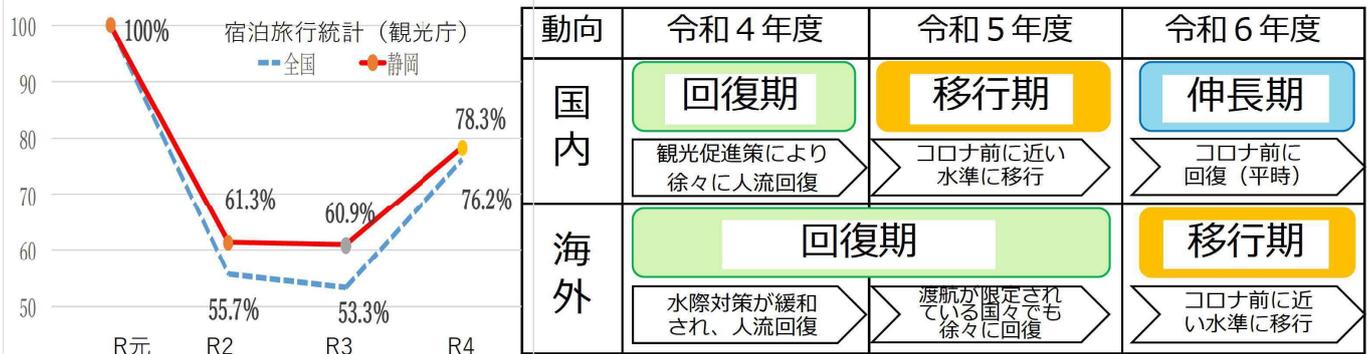


# 令和5年度の取組（県観光交流局）①

<参考>

## ○ 静岡県内の観光産業の状況

- ・全国旅行支援などの旅行需要の喚起策に取り組むことで、需要は確実に回復傾向
- ・一方で観光庁宿泊統計によると、令和4年の宿泊者数は、令和元年比で全国が76.2%、本県が78.3%であり、観光産業は回復途上にあると言える。



## ○ 令和5年度取組方針

需要のソフトランディング	・回復途上の旅行需要を本格軌道に乗せるため、需要回復状況を踏まえた個人旅行支援、団体旅行の底上げ
しずおか感動体験ツーリズムの確立	・早期回復が予想される東アジア地域を中心としたインバウンド需要の獲得強化 ・テーマ性を持った魅力的な感動体験ツーリズムの推進（ガストロノミーツーリズム、歴史・文化、教育旅行等の推進）
データ活用で新たな価値を生むDXの推進	・観光アプリTIPS等を用いたデータマーケティングの推進 ・データを活用した新たな観光サービスを創出する市町等への伴走型支援

# 令和5年度の取組（県観光交流局）②

## ○ 令和5年度当初予算 約23億円

区分	主な事業
需要のソフトランディング	・ 県内宿泊旅行等促進事業費 (127,000千円)
しずおか感動体験ツーリズムの確立	・ インバウンド推進事業費 (105,000千円) ・ ガストロノミーツーリズム推進事業費 (60,000千円) ・ 歴史・文化資源を活用した広域連携事業費 (118,000千円) ・ 教育旅行推進事業費 (79,000千円) ・ 地域資源を活かした観光促進事業費 (30,000千円) ・ 中央日本四県観光交流促進事業費 (42,500千円)
データ活用で新たな価値を生むDXの推進	・ 観光情報プラットフォーム活用事業費 (70,000千円) ・ 観光デジタル化推進事業費 (65,000千円)
その他	・ 観光施設整備事業費 (1,100,000千円) ・ 駿河湾フェリー利活用促進事業費 (210,100千円)

## <参考>

### 賀茂地域直近主要イベント来場者数

イベント名	開催期間	来場者数	前回比
爪木崎 水仙まつり	R4. 12. 20～R5. 1. 31	14万7,000人	116%
河津桜まつり	R5. 2. 1～3. 5	51万2,095人	167%
桜と菜の花まつり	R5. 2. 1～3. 10	25万1,000人	107%

伊豆新聞（令和5年3月14日）

伊豆新聞（令和5年3月11日）

伊豆新聞 5.3.14

# 昨年上回る25万人

桜と菜の花まつり 7%増 14年以降最多

南伊豆

南伊豆町のみなみの桜と菜の花まつり実行委員会が、第14回まつり（2月1日～3月10日）の来場者数をまとめた。2014年以降、最も多かった昨年から7%増の25万1千人となった。実行委員会は「コロナ前と同様、イベントを開催でき、来場者が前年比2.45倍増の16万7千人だった。これは、2022年12月20日～23年1月31日の入出をまとめた。来場者数は前年比16.7%増の14万7千人だった。期間中の交通手段別来場者数は、大型バスが前年比28.6%増の1万350人（45台）、乗用車は同17.5%増の4万6412人（1万1603台）、タクシーは6.2%増の757人（340台）など。二輪車は減り、4.1%減の278人だった。」

同協会は「昨年同様、桜や菜の花まつり、また別の来場者を呼ぶイベント「菜の花まつり」が大きなPR効果が出たと考えられる」と分析する。

伊豆新聞 5.3.11

# 来場16%増 14万7000人

爪木崎水仙まつり メディア宣伝効果か

下田市観光協会は、かねて「第1回水仙まつり」（2022年12月20日～23年1月31日）の入出をまとめた。来場者数は前年比16.7%増の14万7千人だった。期間中の交通手段別来場者数は、大型バスが前年比28.6%増の1万350人（45台）、乗用車は同17.5%増の4万6412人（1万1603台）、タクシーは6.2%増の757人（340台）など。二輪車は減り、4.1%減の278人だった。」

同協会は「昨年同様、桜や菜の花まつり、また別の来場者を呼ぶイベント「菜の花まつり」が大きなPR効果が出たと考えられる」と分析する。



多くの人でにぎわった水仙まつり  
＝下田市須崎の爪木崎

万人が訪れていた。同協会担当者は「来場者数はコロナ前に戻りつつあると感じている。今後は東京を含む首都圏へよりPRしていきたい」と話した。



令和5年3月29日

## 令和5年度賀茂地域広域連携会議運営計画（案）

（賀茂地域局）

## （要旨）

設置から9年目となる賀茂地域広域連携会議の令和5年度の運営計画を以下にまとめる。

## 1 体制と機能

区 分	構 成 員	機 能
賀茂地域広域連携会議	県経営管理部長（議長）、管内6市町長及び 下田市・賀茂郡選出県議会議員（参与） 計8名	所掌事務に関する協 議、意思決定
幹事会	賀茂地域局次長兼地域課長（幹事長）、管内6市町 企画担当課長 計7名	所掌事務に関する検 討、協議、調整
専門部会	検討課題ごと賀茂地域6市町、県庁所管課などで 構成	検討テーマごとの課 題検討、協議、調整

※議事内容に応じ「議長が指名した者に主宰させることができる」こととし、経営管理部理事（地方分権・大都市制度担当）等の代理権限を確保

## 2 令和5年度の開催計画（時期・回数）（案）

- ・令和5年度の開催は、年3回程度（公開2回、非公開1回）
- ・令和5年度の1回目となる第34回会議は、議事の必要性に応じて6月までを目途に開催。
- ・幹事会は、第34回会議までに、WEB形式も織り交ぜ、2～3回を予定。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H27	①4/20		②6/15		③8/3	④9/3	⑤10/27		⑥12/15	⑦1/12			7
H28	⑧4/20				⑨8/1		⑩10/19		⑪12/16		⑫2/21		5
H29		⑬5/25			⑭8/30				⑮12/15		⑯2/19		4
H30		⑰5/21					⑱10/31		⑲12/18			⑳3/18	4
R01		㉑5/31					㉒10/2		㉓12/26		㉔3/17*		4
R02				㉕7/30					㉖12/23			㉗3/15	3
R03				㉘7/13			㉙10/28					㉚3/15	3
R04				㉛7/6					㉜12/23			㉝3/29	3
計	2	3	1	3	3	1	5	0	7	1	3	4	33
四半期	6			7			12			8			33
R05	1㉞			1㉟			1㊱			3			

㉞…公開 ㉟…非公開

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況を勘案し、書面開催

## 3 令和5年度賀茂地域広域連携会議の議論の方向性（案）

以下より幹事会にて調整し議事を検討していく

- ・人口減少、高齢化を見据えた市町間連携（教育、地域交通、人材、大学との交流・連携等）
- ・新型コロナウイルス感染症終息後（5類への移行）の賀茂地域における地域活性化に向けた連携
- ・国立社会保障・人口問題研究所の地域別将来推計人口をふまえた、各市町における将来のすがたの作成及び意見交換
- ・その他、時宜に応じた議題や各市町における課題等